

# 北信州みゆきポーク経営者公募について

## 1. 公募の経緯と目的

飯山市は長野県のもっとも北に位置し、唱歌「ふるさと」「朧月夜」などにも歌い継がれてきたような、郷愁の情景が今なお息づく悠久のふるさとです。豊かな自然風土のなかで独特の文化や歴史、伝統と人情が生まれ、趣深い寺の町並みや奥深く続く森や高原、四季の彩りをたたえる農作物など、土地土地にさまざまな魅力があふれています。

この飯山市には長野県を代表するブランドポークがあります。それが「北信州みゆきポーク」です。

「北信州みゆきポーク」は、飯山市内の養豚農家が主体となり、平成元年から築き上げてきたブランドポークです。最盛期には約 5 千頭の出荷実績がありましたが、生産者の高齢化による廃業から年々出荷頭数は減少し存続の危機に直面しており、地元の方をはじめ各方面から「北信州みゆきポーク」の存続を望む声が多く聞かれています。

一方で、平成 27 年 3 月に北陸新幹線・長野～金沢間が開通し、「飯山駅」が誕生し、全国各地からのアクセスがよく観光需要の高まりと、これまでの地元需要から、その需要に対応できない状況となっています。

養豚場で生産される堆肥は、農業の盛んな飯山市内のほか近隣市町村へ供給しており、お米、アスパラガス、胡瓜、ズッキーニ等の生産には欠かせない物となっています。

そこで、飯山市に欠かせない「北信州みゆきポーク」生産を新たに開始できる養豚経営者を公募致します。

## 2. 公募期間

令和 3 年 3 月 31 日まで

※応募多数の場合は期限前に締め切る場合もあります。

## 3. 「北信州みゆきポーク」生産の履行にあたっての遵守事項

- (1) 養豚経営に意欲を持ち、自ら養豚経営を営む意志のある方。
- (2) 飯山市内での生産とする。但し候補地は選定してあるが確定には至っていない。また、地域住民の理解を得られない場合もある。
- (3) 出荷頭数は、J Aながのと協議し頭数契約を締結する。
- (4) 配合飼料は、「北信州みゆきポーク」の指定配合飼料を使用すること。
- (5) 種豚は、「北信州みゆきポーク」の指定種豚を使用すること。
- (6) 臭気・害虫等の環境問題が発生した場合は速やかに対処すること。
- (7) 生産履歴の記録・記帳を行い定期的に提出すること。
- (8) 常に J A養豚担当者と連絡を密にして生産にあたること。
- (9) 生産・経営の進捗状況について、定期的に検討会を行うこと。
- (10) 家畜衛生管理基準を遵守すること。
- (11) 行政機関からの調査等依頼事項に協力すること。
- (12) その他目的達成に必要なこと。

#### 4. お問い合わせ先

ながの農業協同組合

みゆき営農センター

営農課 齊藤広幸

T E L : 0269-62-5600

F A X : 0269-81-2171